

監査のフロが書く内部監査報告書

一指摘事項と改善提案への攻略法

◆事例に学ぶわかりやすく説得力のある内部監査報告書の書き方◆

- 日時 ● 2016年12月6日(火) 10:30~17:30 <12:30-13:20 昼食・休憩>
- 会場 ● 東京・飯田橋『日本出版クラブ会館』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

●プログラム●

【ご経歴】

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラックス株式会社監査役/ABボルボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士(現在 inactive)。

【開催に当たり — 藤井講師からのメッセージ】

経営から見た内部監査の価値は、まず第一に監査報告書がどれほど経営に価値のある指摘と提案を提示できるかで決まります。とりわけ企業活動の合理化が進み、内部監査でさえその存在理由が問われる今日の内部監査人にとってこれは最重要課題と言えるでしょう。そのために監査人は、監査の結論とともに指摘事項や改善提案を形式的にも理論的にもきちんと整理して、わかりやすく説得力のある内容をぜい肉をそぎ落とした簡潔な文章にまとめる能力が求められます。これは実践的でありながら理論的なアプローチを要する優れた専門的な作業であるため、長年の実務経験だけで身に付くとは限りません。本セミナーでは、こうした監査報告とくに指摘事項と改善提案の書き方という重要課題にフォーカスします。これはおそらくIIA基準や内部監査の解説書や一般の研修でもまともに深掘りできていない、またそのために共通の実務も確立していない領域であり内部監査に一番重要な残された実務課題の一つとみることが出来ます。

こうした決定的に重要なポイントが一般の内部監査の解説書や研修ではほとんど扱われていないのは、企業によって指摘・提案の形式や内容が千差万別で一般化・標準化しにくい等の事情によると思われます。そこで本セミナーではケーススタディ方式で指摘や改善提案の文章の事例を見ながらどこに問題があるかを実感していただきます。その上でそれをどのような考え方で体系的に整理して改善したらよいかという実践的な視点やロジック及び作成上の留意点を紹介します。こうした理解しやすい事例の検討を通して、内部監査の実務経験の浅い深いを問わず、また関連管理部署の方にも各々の立場やニーズに応じて内部監査報告の本質に迫る知見やノウハウを習得して今後の実務に生かしていただければと思います。

●参加要領●

●受講料：1名(資料代、サブテキスト、昼食費含む)

正会員	44,280円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 41,000円 本体価格 43,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ

担当) 居代 E-mail: ishиро@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951 ~ 2

161695-0202	12/6	監査のフロが書く内部監査報告書	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

★当日、サマテキストとして「内部監査プロフェッショナルが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」
(同文館出版) 2016年11月刊・定価 3,800円(税別)・講師著を配布いたします。

●プログラム●

第1部： 内部監査報告書の位置づけと全体構成

10:30

1. 内部監査の位置づけと目指す方向を考える

本題に入る前に、内部監査のガバナンスにおける位置づけや目指す方向について概略を見ておきましょう。これは自分の会社の監査報告のあり方を考える際にその前提となる監査活動の構造を確認して自社固有の内部監査の立ち位置や方向性を含めた内部監査のミッションを認識していただき、これにベクトルを合わせた監査報告のあり方を意識してもらうためです。この中で内部監査のコンサルとアシュアランスという2つの業務ないし価値の考え方、アシュアランスにおける積極的アシュアランスと消極的アシュアランスの使い分け、それらの実務における取扱いやその影響等にも触れます。

2. 監査報告書の全体構成と各記載項目の留意点

次に内部監査報告書の全体構成とそれぞれの記載項目について作成上の留意点を参考例を見ながら解説します。

<11:40-11:50 休憩>

第2部： コントロールをベースにした業務監査における指摘・提案

12:30

1. コントロールの不全を探す～3つの改善提案

内部監査で最も一般的な業務レベルの監査について、どのような視点から改善提案を洗い出すか、その際の切り口と報告書に記載すべき記載項目および個々の記載項目は何のためか等を解説します。この構造をはっきりと認識することでメタボな文章をスリム化したり説明不足を補うための目的意識と方向感覚が生まれます。

昼食・休憩

13:20

2. 指摘事項、リスク記載および改善提案の記載内容の事例検討

これらの記載項目について記載方針となる考え方をさまざまなパターン(良い例、悪い例)を見ながら理解を深めます。こうした監査人側の監査報告書上の記載に関する実務上の課題とともに改善提案に対するマネジメントのコメントの記載事項について内部監査でどう対応し利用するかも合わせて検討します。

3. ケーススタディによる指摘・改善事項をめぐる問題の解決策の検討

さまざまなケーススタディを通してコントロールとの関係で3つの改善提案パターンを理解し、色々な角度から実際に遭遇する問題を検討します。理論面でも例えば、指摘と改善の内容に関連する、監査のサンプリングやリスク・アペタイトなどが指摘や提案とどのように整合すべきかなどを事例を使って見ていきます。

第3部： 経営インフラに着目する経営監査における指摘・提案

14:40

1. 業務監査とは違う経営監査の指摘・提案の捉え方

経営領域に関するいわゆる経営監査は経営にインパクトが大きく貢献度の高い重要分野ですが、ここでの指摘や改善提案には業務監査とは違ったアプローチが必要です。ここではコントロールにとどまらず経営インフラに着目した切り口が重要でしょう。その考え方・整理の仕方を戦略リスクとの関係も含めて事例解説します。

休憩

14:50

2. 経営監査の指摘・改善提案のケーススタディ

具体的なケーススタディを通して経営監査の指摘や提案の実践的な感覚を身に付けます。経営監査活動と経営執行部署の業務との関係やオペレーション(業務)監査との切り分けなど経営監査で問題になりやすい悩ましい分野を扱います。また指摘事項と具体的な戦略リスクと関連付けの例をケースを通して紹介します。

16:10

休憩

16:20

第4部： 最終成果物からさかのぼる監査計画・実施の合理化

内部監査の指摘・改善提案のレベルアップという課題は監査報告のときだけの問題ではなく、本来、それを目指して計画・実施の段階からアプローチを合理化・最適化することが望まれます。こうした目的意識から監査アプローチの改善・省力化の視点をモデル例を示してポイント解説いたします。

17:00

《質疑応答&意見交換》 個別のご質問・ご相談にも対応いたします。

17:30

★弊会ホームページからも申込み可能です。「トップ」→「セミナー・会員研究会」→「03. 監査」